

(2). オンラインアップデート機能

オンラインで下記の自動更新を可能にし、運用者の負担を軽減します。

- ・ WinActor 本体
- ・ WebDriver
- ・ ライブラリ
- ・ サブシナリオ

更新方針として、「自動更新」「手動更新」「更新しない」を設定可能です。



【図 2: オンラインアップデートの設定】

(3). Microsoft Edge の IE モード対応

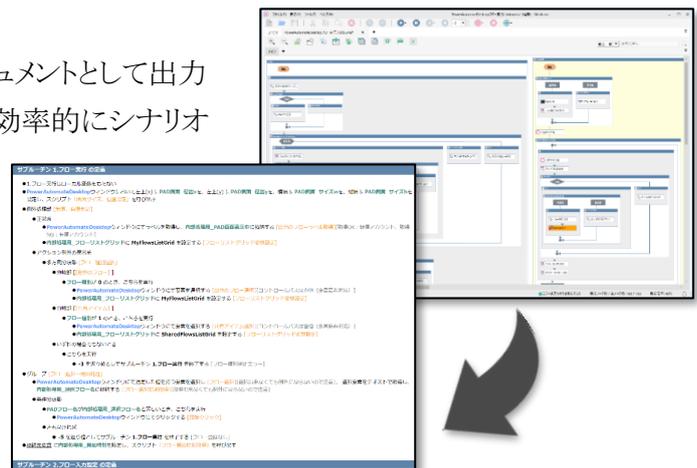
マイクロソフト社は、「Windows10 における IE11 デスクトップアプリケーションのサポートを 2022 年 6 月 15 日に終了する」と発表しました。社内システムなどで IE 向けのサービスを利用している一定数のユーザーは、影響最小化のため、IE ベースの Web サイトのアクセスが可能な Microsoft Edge の IE モードを選択することが想定されます。

Ver.7.3.0 では Microsoft Edge の IE モードで開いたページでの自動記録や、シナリオ実行での自動操作が可能です。また、現在 WinActor で IE を操作しているユーザーへのブラウザ移行支援策を予定しています。

※「<別紙>マイクロソフト社の Internet Explorer11 サポート終了に伴う WinActor の今後の予定」参照

(4). シナリオドキュメント生成機能

シナリオに配置したノードや設定情報の概要をドキュメントとして出力します。読みやすい HTML 形式で出力されるため、効率的にシナリオの保守・運用を行えるようになります。



【図 3: シナリオのドキュメント出力例】

(5). Power Automate Desktop 連携機能

Power Automate Desktop 連携機能を提供します。

例えばマイクロソフト社の RPA“Power Automate Desktop”で作成された基本的な操作を行う小さな単位のロボットをあらかじめ作成しておき、WinActor により業務ごとのシナリオとして組み上げることで、効率性を向上させ、自動化の守備範囲を広がられます。



【図 4: WinActor と Power Automate Desktop 連携利用例】

(6). その他の新機能

- イベント監視機能
指定したフォルダの更新やメールの受信など、登録したイベントを監視して、イベント発生時に対応した処理を実行させることが可能になります。
- Google カレンダー連携機能
Google Workspace のカレンダーをブラウザで操作可能にするサブシナリオを提供します。(※)
- 設定インポート・エクスポート機能
オプション画面の設定内容のインポート・エクスポートが可能です。例えば、設定内容を他の WinActor に展開したりバックアップをとったりするのに利用できます。
- Cloud Library 検索機能
WinActor からクラウド上のライブラリやサンプルシナリオを検索し利用できます。
- ブラウザ操作の改善
従来手間がかかっていた XPath の設定が、マウスクリックで選択するだけで設定可能です。
- その他多数機能提供

(※)サブシナリオについて

WinActor のシナリオ作成時に利用可能な同梱シナリオ部品です。WinActor には Microsoft 365 や Google Workspace に対応した約 130 の操作のサブシナリオを同梱しています。別ファイルのシナリオを実行中のシナリオから呼び出す機能としてご利用いただけます。

■ WinActor について

WinActor は、NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、NTT-AT が商品化した純国産の RPA です。



Windows®アプリケーション、Web アプリケーションで行うさまざまな PC 操作を「シナリオ」として記録し、自動化します。定型的な繰り返し作業や、大量データを扱う作業を正確に再現することが可能です。さらに、既存システムに手を加えることなく、これまで人手で行ってきた複雑な操作や複数システムにまたがるデータの投入を自動化し大幅な効率・品質・コスト改善につなげることができます。WinActor は、企業等の働き方改革・業務効率化に貢献するツールとして注目され、日本企業の業務にマッチした RPA として、金融業から物流・小売業まで幅広い分野の 6,500 社を超える企業に導入いただいています。大企業のほか中堅・中小企業や全国の自治体にも利用者が増え続けています。

WinActor Ver.7 シリーズは初心者から上級プログラマーまで「つまづかない、つまづいても転ばない」をコンセプトに、ユーザーインターフェースの刷新、ユーザーエクスペリエンスの改良によりご好評いただいています。

- ※ WinActor は NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。
- ※ 記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【商品に関するお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社
WinActorお問い合わせページ
<https://winactor.biz/inquiry/winactor.html>

【報道関係のお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社
ビジネス推進部 コーポレート・コミュニケーション部門
担当: 加藤 増田
E-mail: inquiry@ml.ntt-at.co.jp

<別紙> マイクロソフト社の Internet Explorer11 サポート終了に伴う WinActor の今後の予定

1. IE から Microsoft Edge の IE モードへの移行支援策

■ 2021 年 10 月 WinActorVer.7.3.0 リリースにより下記を提供

- Microsoft Edge の IE モードで開いたページで、自動記録やシナリオ実行が可能
- IE を操作する既存シナリオへの影響を最小化する施策
 - ・ ノードについては、WinActor のバージョンアップにより既存シナリオをそのまま Microsoft Edge の IE モードで利用可能
 - ・ IE 関連ライブラリは新ライブラリを提供。既存シナリオのライブラリを置き換えることで Microsoft Edge の IE モードで開いたページで利用可能

■ 2021 年 11 月(予定) WinActorVer.6 のバージョンアップ

- Microsoft Edge の IE モードで開いたページで、自動記録やシナリオ実行が可能
- IE を操作する既存シナリオへの影響を最小化する施策
 - ・ ノードについては、WinActor のバージョンアップにより既存シナリオをそのまま Microsoft Edge の IE モードで利用可能
 - ・ IE 関連ライブラリは新ライブラリを提供。既存シナリオのライブラリを置き換えることで Microsoft Edge の IE モードで開いたページで利用可能

■ 2021 年 11 月(予定) 移行ツール提供

- 上記で提供した IE 関連ライブラリに更新が必要なライブラリの判別と入替自動化するツールを提供
 - ・ 既存シナリオを指定して実行するだけでライブラリ更新作業が可能

2. IE から Microsoft Edge の IE モード以外のブラウザへの移行支援

- 移行支援機能を検討しています。